

事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 5年 2月 21日

事業所名: 放課後等デイサービスポッポ

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○		ハーブやフクロヤシや棚で仕切り、遊びと勉強の場を分けています	
	2	職員の配置数は適切であるか	○		適切な人員配置をしています。	
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	○		個人のロッカーを用意し、玩具等の片づける位置を決めています。バリアフリー化も適正です。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	○		開始前または終了後に清掃を行い、常に消毒を行っています。	
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○		会議や開始前後の伝達で、共通認識を持つよう努めています	会議の回数を増やし、話し合う機会を増やします。
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○		連絡ノートや電話、または送迎時に連絡を取り合っています。	
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○		ホームページで公開し、事業所にも掲示を行っています。	
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		○		今後検討していきます。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○		外部研修に参加したり、事業所内でも研修を行っています	
適切な支援の目標	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画・放課後等デイサービス計画を作成しているか	○		相談支援員や保護者と連携し、一人一人に合った支援計画の作成に努めています	
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○		アセスメントシートを使用しています。	
	12	児童発達支援計画・放課後等デイサービス計画には、子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	○			
	13	児童発達支援計画・放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われているか	○		会議等で個人又は援への共通認識を持ち、支援を行っています	
	14	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○		会議等で話し合っています。	
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○		季節の行事や制作活動、園庭での外遊びなどを行っています	
	16	(放課後等デイサービスのみ) 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○		平日と長期休暇でのデイリープログラムを変更して取り組んでいます。	

児 供	17	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ、児童発達支援計画・放課後等デイサービス計画を作成しているか	○		個々の課題や集団での育ちを踏まえて支援計画を立てています。	
	18	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○		個々の様子や個別配慮など共通認識して、役割の分担や連携を行っています。	
	19	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			
	20	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○		日々、ケース記録と日誌を記入しています。	
	21	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画・放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			
	22	(放課後等デイサービスのみ) ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ、支援を行っているか	○			
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携 関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	23	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			
	24	(児童発達支援のみ) 母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか				
	25	(放課後等デイサービスのみ) 学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	○		学校や保護者と連携を取り、情報を共有しています。	
	26	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか				
	27	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか				
	28	(児童発達支援のみ) 移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか				
	29	(児童発達支援のみ) 移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか				
	30	(放課後等デイサービスのみ) 就学前に利用していた保育所や認定こども園、幼稚園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	○		相談支援員を通じ、面談等で情報の共有を行っています。	
	31	(放課後等デイサービスのみ) 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか		○		現在まで該当する児童はいませんが、今後移行する場合は、情報提供を行います。
	32	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○			

	33	児童発達支援の場合は、保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合は、放課後児童クラブや児童館との交流など、障害のない子どもと活動する機会があるか	○		なごみ交流センター内の園庭で、地域の学童クラブの児童と一緒に遊んでいます。	
	34	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	○		有田圏域自立支援協議会、子ども部会に参加しています。	
	35	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○		日々の連絡ノートや電話、送迎時などで連絡を取り合っています。	
	36	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか		○		今後取り組みを検討します。
保護者への説明責任等	37	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			
	38	児童発達支援計画・放課後等デイサービス計画を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画・放課後等デイサービス計画の同意を得ているか	○			
	39	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			
	40	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		○		今年度はコロナ禍により開催できていませんが、状況を見ながら親子行事を再開していきたいと思っております。
	41	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○		迅速に対応するよう努めています。	
	42	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○		毎日の連絡ノートや毎月のお便りでお伝えしています。	ホームページの活用改善に努めます。
	43	個人情報の取扱いに十分注意しているか	○			
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○		各家庭の状況に合わせた対応に努めています。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		○		コロナ禍により行えていませんが、今後検討していきたいと思っております。
非常時等の対応	46	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	○		各種マニュアルを用意し、事業所内で掲示または閲覧出来るようにしています。	
	47	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○		避難訓練は月一回行い、津波時の避難ルートを歩く練習もしています。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	○		保護者から服用中の薬と、対応法を伺っています。	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○		保護者からアレルギーの有無と対応法を伺っています。	
	50	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○		ヒヤリハットを書き留め、事業所内で話し合っています。	
	51	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○		外部研修に参加し、事業所内での研修も行っています。	

52	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画・放課後等デイサービス計画に記載しているか	○			身体拘束が必要な児童はいませんが、必要な場合は保護者と連携して取り組んでいきます。
----	--	---	--	--	---

○ この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。